



# 瑞穂市

## わがまちの特産品



瑞穂市長 堀 孝 正

岐阜県都市整備協会様が、設立50周年という記念すべき節目の年を迎えられ、心からお祝いを申し上げます。

皆様は、富有柿の発祥の地が、瑞穂市だという事をご存知でしょうか。今や富有柿は、全国の甘柿の中でも最優秀品種とされており、その王様と称賛される富有柿の名の由来は、大野郡居倉村（現瑞穂市居倉）生まれの「福寫才治」氏（ふくしまさいじ）が在来種の居倉御所柿の中で、味・形状が他より優れたものから接穂を得て増殖、改良して新しい品種を生み出し、明治25年に「富有」と命名したのが始まりです。

富有柿は、各種の賞を受賞して名声を博し、明治37年には天皇陛下に献上されたため、日本巣郡内一帯の果樹園芸農家が富有柿の産地を形成しました。

恩田博士の著書「実験柿栗栽培法」（大正元年発刊）には、富有柿は本巣郡川崎村居倉の原産で、その親木は今なお同地にあり、100年以上経過していると記述されています。この富有柿の原木は、昭和4年に移植されたとき枯木しましたが、移植の翌年その根本から発芽して成木になりました。このほかの場所にも原木があったとする説もありましたが、昭和46年に全国果樹振興審議会に調査を依頼し、富有柿の原木所在地であることを確定いたしました。昭和47年に、岐阜県富有柿振興大会を記念して、原木の脇に「富有柿発祥の地」の石碑を建立しました。また、昭和55年には、旧巣南町が天然記念物「富有柿の母木」に指定しました。

「柿が赤くなると医者が青くなる」といわれるほど柿は、栄養価が豊富な果物です。瑞穂市では、富有柿をはじめ、すなみ柿など良品質な各種の柿が生産されており、巣南果実共同選果場で共同選果、出荷販売されております。



富有柿の母木（市指定天然記念物）